

新技術発表会 inさいたま

2018

注目の新技術・ 新工法を紹介

発表対象はいずれもNETIS(新技術情報提供システム)に登録された新技術・新工法です。
メーカーなどの担当者が、概要や特長などを紹介します。

日時 2018.12/5 水
13:30~16:05(受付13:00~)

会場 埼玉建産連
研修センター
(さいたま市南区鹿手袋4-1-7)
定員
120人

技術発表会プログラム

13:30~13:55

「全天候型仮設屋根『簡易屋根トラス』」/
関西仮設株式会社

13:55~14:20

「鋳心管(いしんかん)『橋梁用排水パイプ』」/
株式会社オリテック21

14:20~14:45

「土留部材引抜同時充填注入工法」/
協同組合Masters

14:45~14:55

休憩(10分)

14:55~15:20

「衝突軽減システム付バックホウ」/
コベルコ建機株式会社

15:20~15:45

「プラスチック製雨水貯留浸透槽『パネケーブ/システムパネル』」/
エバタ株式会社

15:45~16:05

お知らせ&意見交換会

申込方法

FAX.048-861-5376
(裏面の用紙に記載)

参加費

無料

申込期限

2018年11月30日(金)

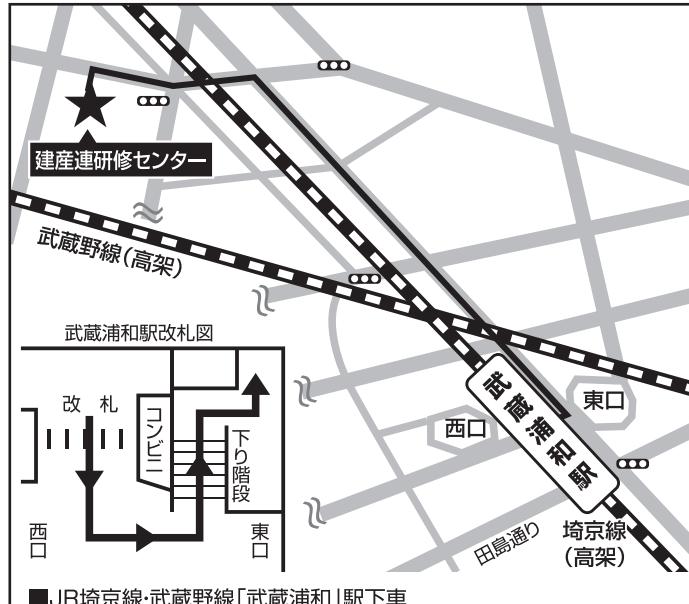
(定員になり次第、締め切らせていただきます)

継続教育

CPDS認定プログラム

■全国土木施工管理技士会連合会(3ユニット)

アクセス



問い合わせ先

一般社団法人 埼玉県建設業協会 TEL.048-861-5111

新技術発表会

概要

全天候型仮設屋根「簡易屋根トラス」

1

関西仮設株式会社

専用トラス部材と筋交い、布板を主要部材とし外部足場に直接取付け可能にした仮設屋根であり、従来はH型鋼と単管パイプを使用した仮設屋根で対応していた。本技術の活用により仮設屋根の組立解体作業が簡素化され、作業が容易となるため工程の短縮が期待できる。

鋳心管(いしかん)「橋梁用排水パイプ」

2

株式会社オリテック21

床版上の滞留水排除を行う同径成形の橋梁用排水パイプ。従来技術では異径成形の削孔による施工が行われていた。本技術の活用により現場施工が効率化されるため、施工性の向上、工期短縮などが期待できる。

土留部材引抜同時充填注入工法

3

協同組合Masters

土留部材を周辺地盤に影響をほとんど与えることなく引抜く唯一の新技術。中でも軟弱地盤や堤防において仮設材にて土留めを行う場合には、本工法は非常に有効な技術です。従来、鋼矢板残置を前提としていた民家や地下埋設物などに近接した工事において、コスト削減と事業損失防止に役立つ。

衝突軽減システム付バックホウ

4

コベルコ建機株式会社

深度センサを使用した衝突軽減システムを搭載したバックホウで、従来は衝突軽減システム未搭載型バックホウで対応していた。本技術の活用により、後方走行時および旋回時の轢かれ事故・挟まれ事故を大幅に軽減することが可能となるため、安全性の向上が図れる。

プラスチック製雨水貯留浸透槽「パネケーブ/システムパネル」

5

エバタ株式会社

ワンタッチはめ込み式のプラスチック製雨水貯留浸透槽で、従来は、プレキャストコンクリート製貯留槽で対応していた。本技術の活用により、小型軽量化した樹脂製部材で、運搬および組立等の人力施工が可能となるため、施工性および経済性の向上が図れる。

12月5日(水)

新技術発表会 受講申込書

FAX番号: 048-861-5376

右記、記入の上
上記FAX番号までご送付ください。

企業名/団体名

所属

氏名

※複数の場合は参加される方
全員をご記入ください

電話番号